

科目名	子どもの健康と安全(演習)		科目ナンバー	CC-CM1167-CP			
担当者 (実務経験名)	非常勤講師 瀧内 駒子 (看護師)						
履修期	2年 前期			卒業単位	選択 1単位		
免許・資格	保育士必修						
授業概要	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学ぶ。また、衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策						
到達目標	知識・理解	子どもの成長・発達を理解し、適切な健康管理や健康教育について説明できる。					
	思考・判断	子どもの健康を育むための保健活動の計画と実践、評価について分析し、考察することができる。					
	興味・意欲・態度	子どもを養護・教育する立場である意識を高め、その責任を感じることができる。					
	技能・表現	子どもの疾病や事故に対する適切な対処を行うことができる。					
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	ガイダンス(シラバスをもとに授業内容や進め方を知る)		配布物を管理するノート、はさみ、のりの準備をする。		1	
	2	子どもの健康と保育の環境		子どもの健康と環境を調べてくる。		1	
	3	子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康		保育における健康管理の意義を調べてくる。		1	
	4	衛生管理		室内外の衛生管理について調べてくる。		1	
	5	事故防止および安全対策		保育施設での事故について調べる。		1	
	6	災害への備えと危機管理		ハザードマップをみてる。		1	
	7	体調不良や傷害が発生した場合の対応		子どもの発達段階に応じた特徴を調べる。		1	
	8	救急処置および救急蘇生法		子どもの事故とけがを調べてくる。		1	
	9	感染症の集団発生と予防、対応		正しい手洗い方法を調べてくる。		1	
	10	保育における保健的対応の基本的考え方		保健的対応について調べてくる。		1	
	11	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応①		子ども達への教育的なかわり方を調べてくる。		1	
	12	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応②		子ども達への教育的なかわり方を調べてくる。		1	
	13	職員間の連携・協働と組織的取り組み①		連携・協働のネットワークについて調べてくる。		1	
	14	職員間の連携・協働と組織的取り組み②		事例を通して適切な対応を考えてくる。		1	
	15	まとめ		1～14回までの復習をしてくる。			
成績評価方法			知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験		○				60%
	レポート		○				10%
	課題			○			10%
	実技				○	○	10%
	受講状況・態度				○		10%
	その他()						
フィードバックの方法	事前学習課題は、口頭によりフィードバックを行います。						
教科書	毎回プリントを配布します。						
参考書	新基本保育シリーズ⑩『子どもの健康と安全』児童育成協会						
アクティブ・ラーニング	実習、グループワーク						
ICT活用	e-ラーニングサイトを用いて、授業資料等の提示、小テスト、課題提出等を行います。						
メッセージ・備考	保育の環境整備や健康・安全管理など、看護師の実務経験を活かした授業を行います。						
関連科目	子どもの保健						